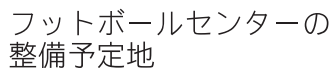


フットボールセンター整備を先に



【答】九州防衛局との協議で、フットボールセンターは民生安定施設の助成の対象施設の中



ンターの整備を先に行いたいと考えています。

町民に対し周知を図る



〔答〕 今年度8月1日現在で、管理戸数557戸であり現在123戸

の入居戸数となっており、早期完了を目指し入居者に対するアンケート等により、退去についての調査を行い、政策空き家の早期解消に努めたい。跡地の利用については、町民の意見を伺いながら今後検討してまいります。

いか。
【答】 事業計画を見直す

問 バイオガスを活用した町づくりについて。

答 宮崎県酪農クラスター協議会が、糞尿を活用した発電施設の建設について、建設費と維持管理費、糞尿収集

や消化液散布に係るコストを調査し、費用対効果について分析を行います。この事業結果を踏まえ、今後検討してまいります。



まちづくり事業、町民合意は

町長

住民代表等で原案作成



吉田 貴行 議員

〔問〕新田原基地問題について、空調機・建具の取替えについて、現状はどうなっているのか。また、NHK受信料補助見直しの動きがあるとの話を聞くがどうなっているのか。

〔答〕空調機・建具の取

替えは、待機世帯の早期解消に努めるよう強く要望していく。NHK受信料の見直しは、会計検査院の指摘を受け、検討を始めたと言っている。

〔問〕町職員の健康管理、とりわけメンタル面での現状と対策は。

〔答〕現在、心身の故障により、休職している職員は2名。対策として、毎月1回のメンタルヘルスカウンセリング、全職員を対象とした年1回のメンタルヘルスチェック及びメンタルヘルス研修等を実施している。

〔問〕障がい者団体への町施設等の貸し出しについて、優遇措置は実施できないか。

〔答〕各施設使用料の減免制度を行っている。対象団体は、設置法令等に基づき、営利性、娯楽性が低い町内の公

共的団体や福祉団体となっている。

〔問〕町が実施したアンケートによるとフットボールセンターを利用しないと答えた町民は53.6%となっている。町民合意が不十分ではないか。

〔答〕「実施計画」は住民代表や有識者により、原案を作成し、町として計画を定めたものです。

運営基盤の自主財源確保策は

町長

総合戦略を展開税収増に努める



阿 萬 誠 郎 議員

〔問〕これまでの町財政の健全化取り組み成果、及び町政運営の基盤づくりをどう認識しているのか伺います。

〔答〕歳入は、町税の徴収率の向上、地方創生加速化交付金など国・県の制度を活用し財源確保に努め、歳出は、文化会館等の指定管理者委託など事務事業を見直し、行政改革を推進しました。さらに、職員一丸となり、「暮



持続可能な行政基盤の強化を

らしと環境」「健康と福祉」「教育・文化と人づくり」また「産業経済」の各分野でハード、ソフト面の充実に努めてきました。

〔問〕大幅な伸びが期待できない一般財源である。財政健全化のため「自主財源の確保策」をどのように考えているのか伺います。

〔答〕国・県の財源に頼るばかりでなく、特に町税の増収策が必要。総合戦略による「新しい人の流れをつくる」「地域のコミュニティ



新富町まちづくり実施計画書

基地周辺協議会の活動内容について

町長

共通する課題のみ要望



丹 邦敏 議員

問 小中学校の給食費無料化は出来ないか。
答 現段階では考えていない。食材等の補助を行っており、出来るだけ保護者の負担が減るように検討したい。

問 騒音の著しい移転区域から対策の必要があると思うが。
答 一種区域の見直し



騒音対策の充実を

実施については協議されたのか。
答 共通の一種区域については協議し、それ以外については個別に国と協議となっている。
問 一種区域以外については個別に対応した方が本町の公益性が確保できるが。
答 個別の要望は町独自で行っている。通常の2市3町の協議会活動は年1回の総会と九州防衛局への要望活動

問 まちづくり計画が予定されている国有地（移転跡地）に堅固な建物を造る場合国は土地を貸さないと説明されているが。
答 国有地に堅固な建物は適切でないと言っている。土地の交換を含め協議中。
問 国有地との土地交換について国の回答は。
答 継続した協議を行っている。

まちづくり事業をどう進める

町長

強い地域経済を確立するため



永友繁喜 議員

問 町民説明会でいろいろな不安や意見が出たと思いますが、町長が意見を聞いてどの様な思いを持って今後ま

ちづくり事業を進めて行くのか伺います。
答 町民説明会においては、町民の皆様から多くの質問やご心配、建設的な提案など、様々な意見を頂き、熱心な意見交換を行い一つ一つ丁寧な回答、説明に努めてまいりました。

た。本町の人口の予測は、このままでは加速度的な人口減少を示しており、町勢の衰退を危惧しております。持続可能な新富町を目指し、強い地域経済を確立するための取組みです。10年後、20年後、もつと将来の新富町の為の挑戦であると考えています。
問 産地パワーアップ事業の現状について伺います。
答 新富町 農業再生協議会において産地パワーアップ計画を作成した。この計画の定めるところにより、事業計画を取組主体である農家が作成し、補助事業を行っております。平成29年度に事業繰越し9戸の農家が工事完了。本年度4戸の農家が事業に取り組む。本年度から一般会計を経由することになりました。
問 この事業は新規でない出来ないが、ハウスの更新、自動開閉機の更新等もう少し柔軟な対応は出来ないのか。
答 制度上難しい。



産地パワーアップ事業で工事完了した施設

現地調査

総務産業常任委員会

◎新富町浄水場

新富町の水道利用世帯は5677戸（一部地域を除く）使用量は1日平均約5000m³で、浄水場では最大1日約8500m³の処理能力がある。浄水場には職員が365日24時間体制で常勤し、安全・安心な水をいつでも使用できる体制をとっている。

委員会は、浄水場の一部施設、設備等の老朽化が進んでいることから現地調査を行った。管理棟で、コントロールパネルを使い説明を受けた後、取水場から送られてきた水が配水池に送水される工程の施設調査を行った。



コントロールパネルを使った浄水場の説明

ルパネルを使い説明を受けた後、取水場から送られてきた水が配水池に送水される工程の施設調査を行った。

委員会は、安定した水道水を供給するには、老朽化した施設等の建て替えや配水管布設替工事等の早急な対策が必要だとの意見があった。

◎ライチ栽培現地視察

1. 概要

(1) 生産者等

森 泰男さん 28・5a（うち育苗面積3・

5a）4品種を栽培出荷



ライチで説明の内説スウ栽培

平成14年に先駆的に海外ライチの品種から複数系統を導入し、試験栽培を開始。15年間およぶ栽培経験から、県内ライチ生産の先導的役割を担っている。

平成22年に県がライチを振興品目にかかげて以来、導入10品種の比較や花穂形成による結果率向上、カルシウム資材散布による裂果対策、秋芽管理による出蕾への影響等、数多くの試験を行っている。

2. 児湯郡内の生産状況と推移

平成25年度は生産者が2戸、面積40a、生産量1・1tでした。今年度は生産者6戸、面積120a、生産量6・1tになっている。

3. 生産上の課題

(1) 登録農薬が少ない。

(2) 結実が不安定で、奇形果、裂果の発生など、不明な点が多い。

試験栽培により、糖度の調整や出荷時期の調整を独自に確立され、経費を30%に抑える等の努力を行なっている。今後、新富町の特産品として、栽培規模の拡大、発展に繋がることを期待したい。

文教厚生常任委員会

◎通学路の現地調査

事を要望した。

弁指地区の通学路に町民の方から危険な箇所があるとの指摘を受けましたので、教育総務課、都市建設課の職員の同行を求め現地を調査しました。現地は、道路に雑木が覆いかぶさり、利用する子供達にとっては、安全が十分に確保されていない事が考えられました。

委員会は、子供が毎日登下校する通学路なので、危険な箇所は直ちに対策をしてほしいと

教育委員会に対しては、現在、通学路の周辺環境整備などの予算措置がない為、予算の確保を強く要望したところです。



弁指地区の通学路

基地対策特別委員会要望活動報告

8月22日、23日で議長及び基地対策特別委員会は防衛省等への要望活動を実施しました。

騒音コンタクト見直しは事実上の白紙撤回となり、初めての要望活動であります。行政、商工会、町民の意見等を集約し、防衛省熊本支局・九州防衛局・航空幕僚監部・総務省等を訪問し、要望書を提出しました。

①熊本防衛支局
基地工事関連予算の執行について。
1千万円以下の事業は町内事業者に発注してほしい。他の事業も新富町内事業者の参入が可能な制度を取り入れて欲しい等、各議員それぞれの角度から理解を得られるよう申し入れ致しました。
(以降も同様)

事業者との共同事業であれば、有利になるように点数加算をするようにしている。但し、新富町内事業者の登録は1件であり、まずは登録してほしい。
(是非登録を！)

②九州防衛局及び防衛省地方協力局
告示後住宅の早期着工・防音工事待機者の解消・空調機等の更新期間短縮・ケーブルテレビ敷設への協力・町の事業推進への協力・基地交付金及び調整交付金の増額・再編関連訓練移転等交付金の所要額の確保などについて要望。

③航空幕僚監部
住宅、学校等の上空飛行自粛・地上騒音対策の推進・隊員の町内移住推進・基地調達物品等購入時の町内業者の活用・中央調達の自

④総務省
基地交付金の予算及び増額を要望
回答 現在は総額を3年に一度10億円の増額に努力している。総額確保が課題であり、今後も総額確保に努力したい。



防衛省地方協力局への要望



航空幕僚監部への要望

回答 今回の騒音区域見直しは、白紙撤回に至ったことは、大いに反省している。今後は地域や行政・議会・県選出の国会議員等に相談や協議をして対応したい。防音工事の未実施住宅が約500戸あり、これを2年で解消したい。また、今年度は5億円増の防音関連予算を確保している。告示後住宅については、開始時期は未定ですが、まずは、告示済の住宅防音待機者の工事推進を図りたい。また、空調機の更新の手続きは早期改善するよう努力する。ケーブルテレビについては、技術的な問題を含め教えてほしい。各種事業については具体的な事業として計画された段階で検討させて頂きたい。基地交付金、調整交付金は、減額しないよう努力している。再編関連移転等交付金は、所要額確保に努力したい。

回答 基本的には一ツ瀬川上空を飛行しているが、飛行条件や飛行安全への対応もある。地上騒音については、夜間の飛行自粛やサイレンサーの使用で軽減をしているが飛行前のランナップは欠かせないので、ご理解いただきたい。官舎については、隊員の居住推進を図りたい。調達予算は、公平透明性が求められている。入札へ参加してほしい。

以上であります、今後も執行部と議会が力を合わせ町民の生活や環境が良くなるよう努力していきます。情報共有で地域間格差が拡大しない様にと全議員で願うところです。

カ・メ・ラ・探・訪



敬老会での子供落語



柿



最盛期を迎えた黄金甘藷の収穫



▲黄色い曼珠沙華
花言葉は
「深い思いやり」
「元気な心」



大型コンバインでの普通作の稲刈り作業



11年ぶりに開設する小児科医院

町民の声
議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

最近高齢者による交通事故が頻繁に報道されるようになりました。コンビニに突込んだり、高速道路の逆走など、まさかという事故を目にします。

高齢者による事故を見聞きするたびに何かしら肩身の狭い思いであり、明日は我が身と、事故の当事者にならないために私は「だろー運転」をせず子供が飛び出すかも、先行する車両が急に進路変更するかもしれないという「かもしれない運転」をしています。

「かもしれない運転」を心掛けることで、ただ漫然と運転するのではなく緊張感を持って運転に集中しています。

これからも、交通法規を遵守し「かもしれない運転」を免許証返納の日まで続けます。
この歳になって交通事故の当事者となり贖いの日々を送らないために。
新田高齢者 Y N

編集後記

9月定例議会は、平成28年度の決算の審査が主な議題です。一般会計や国民健康保険特別会計等の決算については、各議員から様々な意見・要望が出されました。また、一般質問では「まちづくり事業」について議論が交わされました。今後の予算編成や町政運営に生かしてほしいものです。

貴行

議会広報特別委員会

委員長	永友 正章
副委員長	大木 俊二
委員	吉田 貴行
〃	丹 邦 敏
〃	阿 誠 郎
〃	

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139